



目黒区 神社仏閣  
御朱印集め

作成者：株式会社目黒雅叙園2023年度内定者

# 各神社・お寺の場所

中目黒八幡神社  
P.11 , P.12

祐天寺  
P.13 , P.14

ホテル雅叙園東京

蟠龍寺  
P.3 , P.4

目黒不動尊  
P.9 , P.10

蛸薬師成就院  
P.5 , P.6

目黒駅

P.1

P.2

# 浄土宗 蟠龍寺

## “本堂”



御朱印は全2種類



### “堂内にあがってのお焼香の作法”

- ①ご本尊の前に立ち一礼。
  - ②右手でお香を取り、その手に左手を添え、頭を下げ、お香を額の高さまで持ち上げ頂戴する。
  - ③お香を炭にくべ、よい香りの煙をたてる。
  - ④手を合わせてお参りする。
- ※お焼香の作法は宗派によって異なります。  
分からない時はお寺の方に聞いてみましょう。

### “一般的な参拝方法”

本堂前にある香炉にお焼香を立てて、よい香りを仏様に供養してから手を合わせてお参りしましょう。

### “金銅阿弥陀如来像 (こんどうあみだによらいぞう)”

明治四年まで当山に安置されていた約2m程ある大仏。  
※廃仏毀釈(はいぶつきしゃく)の折に行方がわからなくなっていたが、故フランク・ベルナール(コレージュ・ド・フランス)教授により、昭和五十七年にその存在が当山へと伝えられた。現在、フランスのパリ市立チュルニスキー美術館(Muse'e Cernuschi)に収蔵されている。

#### ※廃仏毀釈

仏教を排斥(はいせき)し、寺などを壊すこと。  
明治維新の神仏分離によって起こった仏教破壊運動。



↑  
フランスの  
教科書に掲載されている。

アクセス: 〒153-0064

東京都目黒区下目黒3-4-4  
目黒駅各線より徒歩約13分  
ホテル雅叙園東京より徒歩約9分

# たこ薬師成就院



御朱印は全2種類

天安2年(858)に円仁(えんにん)によって開山された。  
円仁が遣唐使で唐に渡った帰り、海が荒れて危険な状況に、この時海神に肌身離さず持ち歩いていた薬師様を捧げ無事に日本へ着くことが出来た。  
その後肥前の松浦に立ち寄った際、海神に捧げた薬師様の像がタコに乗って浮かんでいた。  
目黒に来た時に、そのタコに乗っている姿を霊木に刻み、薬師様の像を胎内に秘仏として納め蛸薬師如来としてたたえ奉られた。



目に留まるタコの看板が見えてくる

本尊の薬師如来は、1月8日の初薬師縁日にだけご開帳となる。ガンやアトピーなど難病の平癒のために信仰されている。



“本堂”

アクセス: 〒153-0064

東京都目黒区下目黒3-11-11

目黒駅各線より徒歩約10分

ホテル雅叙園東京より徒歩約6分

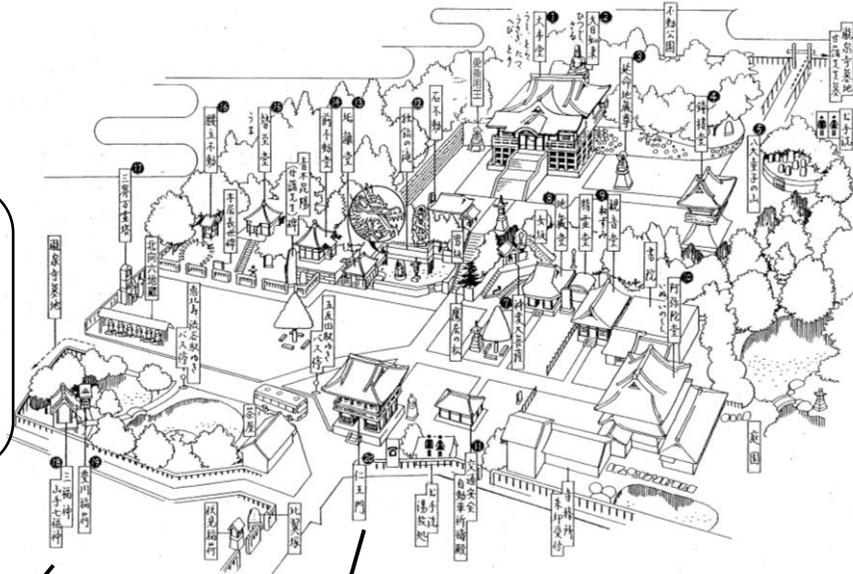
# 泰叡山護國院 瀧泉寺(目黒不動尊)



御朱印は全3種類

## “山手七福神巡り”

室町時代の中頃から起こった「七福神信仰」。境内の三福堂に祀られる「恵比寿神」は右手に釣竿、左手に鯛を抱え、異郷から来臨し、商売繁盛・多幸をもたらす日本古来の民族神。  
★恵比寿神は“三福堂”に祀られている



開基:808年(平安時代)  
本尊:目黒不動明王  
関東最古の不動霊場として、木原不動尊(熊本)・成田不動尊(千葉)と並んで日本三大不動の一つに挙げられている。  
ご尊像は12年に一度、酉年の年に御開帳。  
境内には20を超えるお堂やなどがあり祀られている仏様によって、学業や縁結び、交通安全などのご利益をいただける。



アクセス:〒153-0064  
東京都目黒区下目黒3-20-26  
目黒駅各線より徒歩約15分  
ホテル雅叙園東京より徒歩約10分

# 中目黒八幡神社



(左)八幡神社:「勝負運」

(右)三峯神社:「縁結び」

それぞれにパワースポットとして知られる。

石碑には書道家の豊道春海(ぶんどうしゅんかい)が書いたものが載せられている。

目黒区内では非常に珍しく、境内が小学生の通学路になっている。近所の方のみならず、多くの方々に参拝にお越し頂いている。

神職の方々は日々自然への感謝の気持ちをもって掃除をされている。



「御神木」

常に緑の葉がついていて常緑樹と呼ばれ樹齢が長く、大木になりやすいクスノキを使用することが多い。他にスギやイチョウ等を用いる場合がある。

(写真は社務所横にあるクスノキ)

アクセス: 〒153-0061

東京都目黒区中目黒3-10-5

目黒駅各線より徒歩34分

ホテル雅叙園東京から徒歩21分



・豊道春海の書を彫った石碑

(左)実物

(右)彫りの書き起こし

書き起こしにある「豊道慶中(ぶんどうけいちゅう)」とは豊道春海の本名。

春海は雅号。



・さざれ石

鳥居をくぐり、参道を進んだ先の階段下左側にある。

御朱印帳にも絵柄が描かれている、貫禄のあるさざれ石。

# 明顕山 祐天寺

## “本堂”



御朱印は全3種類

### 累塚(かさねづか)

祐天上人が累という怨霊を鎮めたという伝説がある。累物と呼ばれる、累を題材とした浄瑠璃や歌舞伎、文楽等の上演者は、累塚に詣で、累一族を供養して興業の無事と上演の盛会を祈願する習わしがある。



### 梵鐘

徳川家6代将軍家宣の17回忌の追善供養のため、正室の天英院が発願し、翌享保14年に完成したもので、目黒区指定有形文化財である。鐘には南無阿彌陀仏の名号や将軍吉宗の名が刻まれている。27回忌追善を期に時の鐘として撞かれることになり、現在でも朝6時と正午前に撞かれている。



### 祐天寺み魂まつり子ども盆踊り大会

戦前から戦時中も休まず、2023年で88回を迎える毎年7月に多くの人で賑わうお祭り。3日間の開催で子供から大人までおよそ2万人が訪れる。

### 「祐天寺」という町名ができた訳

祐天寺駅(昭和2年開業)があるのにも関わらず、なぜか祐天寺という町名は無かった。そこで地元商店会や自治会の方々の要請により、昭和43年の住居表示実施の際に「祐天寺」という名の町ができた。



アクセス: 〒153-0061

東京都目黒区中目黒5-24-53

目黒駅各線より徒歩25分

ホテル雅叙園東京より徒歩24分